※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「標準　現代の国語」　（第一学習社）						
副教材等	『プレミアムカラー　国語便覧』　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では漢字の書き取り・読み・語彙など、社会人に必要となる基礎的な国語の力を身につけることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」、他者とのコミュニケーションや、自身の考えを発表するための「話す・聞く能力」及び「書く能力」をしっかりと身につけてください。
・提出物の期限は必ず守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝えあうことができる。
・言葉を大切にする姿勢を養い、言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉の意味や使い方の決まり、漢字などについての知識を身につけている。 目的や場に応じた言葉の使い方や文章表現を理解している。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自身の考えを深めている。 自身の考えを正確に表現し、他者に伝えるために、適切な言葉を使用して発表したり、文章を書いたりしている。 論理的に思考し、文章を的確に読み取っている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を持とうとしている。 言葉を大切にする姿勢を養い、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 人間関係において、互いを尊重し、自身の意思を正しく伝えようと努めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	世界を広げる ［教材］「なぜ本を読むのか」	a：実社会との関わりを考えるための読書の効用について理解している。 b[読]：筆者の考える読書の効用について理解し、自分の考えを深めている。 c：実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	言葉が開く世界 ［教材］「言葉遣いとアイデンティティ」	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]：人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、本文の叙述を基に理解を深めている。 c：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解しようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	人間の文化 ［教材］「水の東西」	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]：東西の対比関係を用いる叙述の方法を把握し、日本の水文化に見られる特徴について理解している。 c：主張と論拠など情報と情報との関係について理解しようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	生活の中の表現 ［教材］「法律の改正に関わる文章を読み比べる」	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を身につけている。 b[読]：改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけて理解している。 c：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やそうとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	話して伝える ［教材］「話し方の工夫」「待遇表現」「論理的な表現」「情報の探索と選択」	a：話し言葉の特長や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 b[話／聞]：話し言葉の特長や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを使っている。 c：話し言葉の特長や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使おうとしている。	記述の確認及び課題の点検	記述の確認及び課題の点検	行動の観察及び記述の点検
	書いて伝える ［教材］「書き方の基礎レッスン」「実用的な手紙文の書き方」	a：書き言葉の特長や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 b[書]：書き言葉の特長や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを使っている。 c：書き言葉の特長や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使おうとしている。	記述の確認及び課題の点検	記述の確認及び課題の点検	行動の観察及び記述の点検

※令和４年度以降入学生用

後期	生活の中の表現 ［教材］「図書委員会のポスターの掲示内容を検討する」	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を身につけている。 b[読]：与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取っている。 c：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やそうとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	社会と人間 ［教材］「「弱いロボット」の誕生」	a：文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]：「弱いロボット」の開発意図と、人との間に生まれた関係性について理解している。 c：文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解しようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	現代と社会 ［教材］「イースター島になぜ森がないのか」	a：文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]：イースター島の歴史から筆者が提示する人類と生態系の在り方を理解し、自分の考えを深めている。 c：文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解しようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	具体と抽象 ［教材］「日本語は世界をこのように捉える」	a：個別の具体的な情報と一般化された抽象的な情報との関係について理解している。 b[読]：「いる」「ある」の違いを、具体例を基にして、要旨を把握している。 c：個別の具体的な情報と一般化された抽象的な情報との関係について理解しようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	話して伝える ［教材］「情報源の明示」「スピーチで自分を伝える」「相手に伝わる案内をする」「理想の修学旅行をプレゼンする」	a：引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 b[話／聞]：場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いて、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c：引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使おうとしている。	記述の確認及び課題の点検	発表課題	行動の観察及び記述の点検
	書いて伝える ［教材］「地域の魅力を紹介する」「自校の生徒の生活実態を調査する」	a：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[書]：自分の考えが的確に伝わるように説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使おうとしている。	記述の確認及び課題の点検	記述の確認及び課題の点検	行動の観察及び記述の点検

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間